

職場コミュニケーションの充実

① 2

2010. 9. 1

J R 東海 労 東 二 運 分 会



J R 東海ユニオンは、基本協約改訂と職場諸要求の申し入れに「職場コミュニケーションの充実」をあげ、「管理職・管理者と一般社員のコミュニケーションがより充実するよう対話の機会を増やすこと」「社員とのきめ細かいコミュニケーションが図れるよう体制強化を図ること」を求めています。これは風通しの良い職場風土づくりのためだそうです。

ところで「管理職・管理者と一般社員のコミュニケーション」とは具体的に何を指すのでしょうか。思い浮かぶのは G 長だったり、やけにニコニコ顔の助役さんだったりします。会社主催のレクリエーションもその一つかもしれません。

が、どれを取っても「一般社員」からは、いい管理職・管理者だという声が聞こえてきませんが、あのレクリエーションの酒は旨かったけど、雰囲気は今ひとつだったなという声が聞こえます。これじゃあ準備する「一般社員」はたまったものじゃありません？

もう一つ、ところで「一般社員」って誰のことでしょうか。ちなみに、一般の反対は、特別とか特殊ですよ。東二輪では所長以外は管理職・管理者を含めて全員が組合員（J R 東海ユニオンの場合、専任社員は違うかな？）のはずです。

東海労や国労組合員のことにも心配してくれて「一般社員」という表現をしているのでしょうか。ありがたいことです。

もう一つ、が、大きなお世話です。労務管理が目的の G 長とも、やけにニコニコ顔の助役さんともコミュニケーションの充実など希望しません。おまけに、組合員を「一般社員」と表現し、特殊な「管理職・管理者」との上下関係や命令と服従関係を描き出す J R 東海ユニオン本部には呆れてしまいます。違いますか？

「充実も 助役さんとの 2WAY」 C D 頑 爺